

和田ゼミ社会起業研究会

備えていますか！？

東日本大震災から6年が経った日本。またいつ起こるか分からない大規模な震災。それは今この瞬間に起きるかもしれません。皆さんは地震に対して日頃から意識をして行動し、備蓄や対策をしていますか？地震が来てから、こうしておけばよかったでは手遅れです！

今からできる防災対策を行いましょう！



※この活動は KUIS グッズの売上金をもとに行われています。

1

地震は必ず来る！

冷静にリスクと向き合い、最悪を想定する

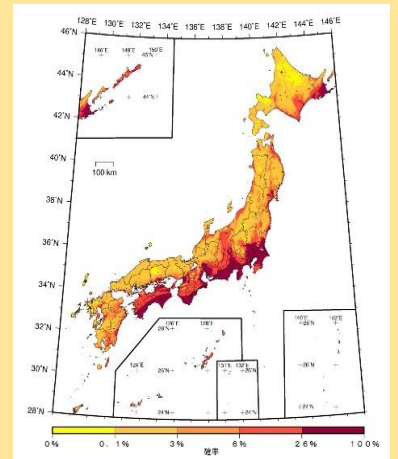
●政府の地震調査委員会「全国地震動予測地図 2017年版」予測では

30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

千葉市は85%で全国最大

…水戸市・横浜市 81%、さいたま市 55%、新宿区 47%

- | |
|--|
| <p>【震度6弱】家具が移動し、立っていることは困難。
壁のタイルや窓ガラスが破損・落下し、建物が傾く</p> <p>【震度6強】家具が倒れ、這わないと動けない
家屋が倒壊し、大きな地割れ・地滑りが起こる</p> |
|--|



●早急な対策を必要とする想定地震は2種

●「**千葉県北西部直下地震**」(千葉市直下地震)

「震度6強」(強烈な縦揺れ)の予測。緊急災害速報は間に合わない
揺れによる損壊が激しく、**最大被害**が想定されている
津波被害は想定されていない

●「**南海トラフ巨大地震**」

「震度5強」(長時間の横揺れ)の予測
緊急災害速報が間に合う場合もある
津波が発生：東京湾入り口で10m、千葉市3m、南房総地域7~9m

2

千葉市美浜区（KUIS 所在地）の想定被害

液状化：全域で発生

東日本大震災の際には海浜幕張駅周辺から KUIS 校内まで液状化した



・建物被害：倒壊の恐れは少ないが、天井・窓・壁などが損壊

KUIS は新耐震基準（1981 年改正）に基づいて建築されており
倒壊の心配はない

・ライフライン：数日から数週間の停止は避けられない

電力（2～3日停電）・上下水道（1～2週間停止）・ガス（1～2週間停止）
情報通信（2～3日不通）

・鉄道（JR・京成）：8日程度不通

・避難者：震災1日後に美浜区のみで約32,000人

千葉市全域では約30万人

・帰宅困難者：海浜幕張駅周辺で27,000人

・津波：要注意（津波予測は千葉市海岸で約3m）

海抜3.5mのKUISでは直接被害は想定されていないが、KUIS沿いの浜田川が国道14号線と交わる辺りは浸水避難指定地区とされているので注意が必要。津波の力は巨大で、0.5mで大人が流される。

3

グラツと来たら！ **まず 自助** 【学内では】

震度 5 弱以上の地震が発生したら….

1. 揺れている間は動かない

身の安全を確保

脱出口を確保



2. 揺れが収まったら建物の外へ

安全であればその場にとどまる

逃げ遅れ・閉じ込め・要支援者・負傷者がいないか確認
危険表示場所・液状化場所・火災現場を避ける

3. **人工芝グラウンドに集合** 講義ごとに安否を確認

津波発生時は 40 分以内に校舎 2 階以上に再避難

大学の指示を待つ

原則として学外には出ない

4. 無理に帰宅しない

帰宅するときは大学に届け出てから

交通機関は 8 日程度、不通の見込み
災害時には 10 キロ歩くのに 4 時間以上を要する
単独行動と日没後の帰宅は厳禁

【通学途中・外出先では】

落下物・破損物から身を守り、揺れが収まるのを待つ
安全ならばその場にとどまり、危険ならば避難所へ

4

そして、助け合い、安否を確認 **共助**

1. 周りに協力を求め、一人でも多くの人を助ける

単独で対処せず、必ず複数で協働する

応急救護・AED・メディカルセンターを活用

火災の初期消火は可能な範囲で

2. 大切な人の安否を確認

「**災害用伝言サービス 171**」などを活用



NTT 東日本>映像で見る 171、web171 使い方 ↑

3. **KUIS** からの安否確認メールに必ず応答する

4. 大学の指示に従って学内避難の準備

助け合いは全員で

学内備蓄を活用

不足は自治体による周辺備蓄に支援を求める

「幕張南小学校」「幕張コミュニティセンター」「幕張総合高校」など

【通学途中・外出先では】

近くの避難所へ

直近の避難所情報はアプリ「全国避難所ガイド」で検索

5

やっておいてよかった！

今すぐ始める防災と備蓄

★今すぐやる！その1

家族や友人どうして、**安否確認仕方**を話し合おう！

近くの避難所を確認し、**どの避難所で落ち合うか**を決めておこう！

緊急連絡先の手書き一覧表をつくり、**持ち歩こう！**

スマホに**防災アプリ・ラジオ**を入れよう！



☆日頃から常に持ち歩いていなければならない物

- ・身分証
- ・ティッシュ
- ・保険証
- ・現金(小銭も)
- ・携帯電話、充電機



今すぐ揃えよう！持ち歩こう！

100円ショップ商品で作れる防災ポーチ



・アルミシート
☆防寒



・イヤホン
☆ラジオなどを聞くとときに



・ウェットティッシュ
☆水が十分でない可能性も



・シールメモ
☆壁等に貼って
自分の安全を知らせる



・ペン



・お菓子類
☆飴やチョコレートなど、
糖分の摂れるものを入れておく



・靴下

☆洗濯ができないことが予想される。外出先ですぐに家に帰れない場合がある。下着類を一組ずつ携帯しておく！



・下着



・ビニール袋

☆水の運搬、トイレなど用途様々



・生理用品

☆洗濯物を減らすため傷の手当にも使える



・歯ブラシ

☆水が使える場合



・眼鏡、コンタクトレンズ

☆コンタクトの人は目を守るためにも眼鏡を持ち歩く



・使い捨てマスク

☆感染症予防、女性はメイクができない場合スツピン隠しにも便利！



・懐中電灯

☆暗闇を照らすため



・簡易トイレ

☆3つほど携帯しておくようにしよう



・軍手

☆作業をする時に
手を怪我しないように



・手ぬぐい、タオル

☆手ぬぐいは簡単に切れるため
怪我をした時包帯の代わりにになる



・充電器(携帯用のもの)

☆電源が使えなかった場合
ポータブルの物があるとよい



・レインコート

☆傘よりも両手が使えて便利



・常備薬、絆創膏

☆持病がある人は特に



・カイロ

☆手や食べ物を温められる



・家族の写真

☆遭難した家族を探す時に
提示するため



・小型はさみ、ナイフ

携帯するもの一覧

- ・携行非常食(あめ、チョコレート、カロリーメイトなど)
- ・携帯電話のモバイルバッテリー(充電式・乾電池式・ソーラー式など)
- ・携帯ラジオ+イヤホン
- ・懐中電灯(LEDの小型)
- ・マスクと手袋(がれきの中で避難に必須。衛生面など避難後も重宝)
- ・メガネまたはコンタクトレンズ
- ・アルミブランケット(防雨と防寒)・雨具
- ・携帯トイレx3
- ・ウェットティッシュ(除菌消毒できるもの)
- ・タオル(包帯の代わりなど用途は多様。薄手の温泉タオルが便利)
- ・歯ブラシ(口中の不快感は大きなストレス。マウスウォッシュでも可)
- ・薬(救急絆創膏・痛み止め・目薬ほか)・ハンドクリーム
- ・生理用品・パンティライナー(洗濯物を減らせ、傷の手当などにも応用可)
- ・ビニール袋またはレジ袋 x3(トイレ・運搬・雨除け・防寒など用途は多様)
- ・安全ピン・輪ゴム(何でもとめられる)・ヘアゴム
- ・小型万能ナイフ
- ・携帯カイロ
- ・家族の写真(捜索用)
- 水またはお茶も持ち歩く
- ・最低限ペットボトル 1本程度
- できれば次のものも携行したい
- ・下着x1+靴下x1
- ・防塵メガネ

【家庭に備蓄する】

「ローリングストック」

古いものから消費して、必ず新しいものを買って足していく

3日分では足りない、1週間は持ちこたえられるように

★必須 1:水(1日一人あたり2~3リットルの人数分は不可欠)

- ・大型ペットボトル 6本入りカートン程度は常備する(飲みながら入れ替えていく)
- ・風呂の水は捨てないで、生活用水として活用

★必須 2:食料(食べながら入れ替え、常に余裕をもって買い置く)

- ・コメ・ご飯パック
- ・缶詰・カップ麺・レトルト食品など
- ・加熱せずに食べられる食品(かまぼこ・チーズなど)
- 野菜ジュース

★必須 3:什器

- ・カセットコンロ+ガスボンベ(コンロが損壊しないよう高所に収納しない)
- ・割りばし・スプーン・ナイフ・密閉容器
- ・ラップフィルムx2(食器を汚さない、傷口の保護、暖を取るなど用途は多様)
- ・キッチンペーパーx3(用途は多様)
- ・(湯飲み代わり、保存容器に)

★必須 4:衛生

- ・トイレトペーパー+ ボックスティッシュx6 予備
- ・生理用品・パンティライナー予備
- ・レジ袋・ポリ袋・ゴミ袋・新聞紙(簡易トイレ用に不可欠)
- ・ゴム手袋・除菌ウェットティッシュ・消毒スプレー・消臭スプレー
- ・救急用品(常備薬・消毒薬・包帯など)
- ・ビタミン剤(支援物資だけではビタミン不足に)
- ・ハンドクリーム

●必須 5:備品

- ・懐中電灯・乾電池予備
- ・ライター・ろうそく
- ・軍手・紐・ガムテープ
- ・ラジオ

★今すぐやる! その5:震災用備蓄と割り切って新規に備蓄する

- ・簡易トイレ
- ・長期保存水
- ・長期保存食
- ・ヘルメット

お役立ち情報サイト

LINE (千葉市)